

第三者評価結果入力シート (児童養護施設)

種別	児童養護施設
----	--------

①第三者評価機関名

株式会社シーサポート

②施設名等

名称:	ケヤキホーム
施設長氏名:	大原岳夫
定員:	82名
所在地(都道府県):	埼玉県

③理念・基本方針

<p>(1) 理念 個人の尊厳を重んじ、かけがえのない存在である其々の児童に、安全な環境を提供し、心からの深い愛情を注ぎ、一人ひとりに寄り添う。 また背負っている重き荷物の軽減に尽力し、地域社会の中で豊かな心で安心した生活が送れるよう努め、将来の自立と自己実現に向けて、心身の健やかな成長と児童の最善の利益を念頭に、職員が一丸となって支援を行う。</p> <p>(2) 基本方針 一、事の善悪 二、皆で仲よく 三、豊かな人間味</p>

④施設の特徴的な取組

直接養育、間接養育の垣根を超えた取り組みとして、研修、食生活、行事、安全管理、性教育の各委員会を設置して活動している。また新任職員へ他課の若手職員からの定期的な面談を実施することで、視野の広がりや職員間の相互支援につながっている。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間(ア) 契約日(開始日)	2021/4/1
評価実施期間(イ) 評価結果確定日	2022/3/29
前回の受審時期(評価結果確定年度)	平成29年度

⑥総評

<p>運営3カ年方針が策定されており、5つの到達点として目標を明示しています。権利擁護、ICT推進、人材確保等が掲げられそれぞれについてアプローチがなされており、既に目に見えるかたちで成果が表れています。新たな取り組みは施設全体に期待感を膨らませ、職員の活性化につながられています。</p> <p>また本年度より施設長が交替し、権利擁護に関する職員への事例の振り返り、全児童との個別面談、施設内研修の充実など様々な改革が断行されており、併せてこれまでの家庭的養育・地域小規模化についても継続的・計画的に推進されています。</p> <p>本評価を通じて下記の目標と課題が抽出されており、軌道にのった各種改革と共に進められていくことが期待されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●運営層と職員の双方向によるコミュニケーションの浸透 ●ユニット調理の本格始動とその経過分析・検証 ●ワークライフバランスを意識した労務管理：交代制勤務の導入・手当の改定 ●子どもたちの要望を聴取した遊具・玩具等の充足 ●災害時事業継続計画の見直し：感染症対応、実態に即した対応 ●各種マニュアルの整理・統合、分園業務の標準化 ●ICTシステム使用にあたってのセキュリティ確認

⑦第三者評価結果に対する施設のコメント

園長の交代と時代の変化に備えて出されていた理事会の3カ年方針と、新園長の諸改革との一致が改めて確認でき、また受け継がれている養育や、多様化する職員の意見も読み取れ、今後の施設運営への示唆となりました。
--

⑧第三者評価結果(別紙)

第三者評価結果（児童養護施設）

共通評価基準（45項目） I 養育・支援の基本方針と組織

1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	第三者 評価結果
① 1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b
【コメント】	
ホームページにて法人・事業所の理念とその実践を紹介している。施設長が変わり、新たな取り組みを導入しているものの、家庭的養育、地域小規模化をはじめとする基本方針が継続されている。運営層と職員の双方向によるコミュニケーションを密にし、浸透を図る意向をもっている。	

2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	第三者 評価結果
① 2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a
【コメント】	
県内児童養護施設長会、要保護児童地域対策協議会、行政主催の子ども子育て会議への出席を通して情報の収集にあたっている。児童相談所、学校等関係機関と連携し、未曾有の難局を乗り越えるよう取り組んでいる。	
② 3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	a
【コメント】	
養育支援の見直し、職員の資質向上、運営手法の多角化と組織風土の改善を課題としており、以前に取り組んだプロジェクトチームによる成果を継続している。施設全体で課題を共有できるよう民主的な運営とメッセージ発信に取り組んでいる。	

3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	第三者 評価結果
① 4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a
【コメント】	
運営3カ年方針が策定されており、5つの到達点として目標を明示している。権利擁護、ICT推進、人材確保等が掲げられており、具現化のためのアプローチについても記されている。	
② 5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a
【コメント】	
既に令和4年度の事業計画案が立案されており、年度の養育方針、ユニット調理など新たな取り組みについて明記されている。職員の負担を考慮して児童編成と職員体制を決定しており、大きな変革により子どもおよび職員が疲弊しないよう配慮に努める意向を示している。	
(2) 事業計画が適切に策定されている。	
① 6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a
【コメント】	
事業計画に対する事業報告が作成されており、理事会・評議員会への報告がなされている。令和2年度は人員確保、加算取得に対して成果を確認している。	

②	7 事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。	b
【コメント】		
年度当初に子どもたちを集め、行事や職員体制の説明にあっている。後援会への報告等法人としての責務を果たしている。園長の交替についても説明し、移行が果たされている。		

4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		第三者 評価結果
①	8 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a
【コメント】		
権利擁護における生活ルールの見直し、コミュニケーション技能の研鑽に取り組んでいる。特に子どもたちの生活環境の改善、児童間における生活ルールの話し合いに注力しており、子どもたちが主体性と責任感を醸成できるよう見守る支援を推進している。		
②	9 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a
【コメント】		
今年度の振り返りと職員からの意見答申により、ゆとりある職員体制の実現からOJTの拡充と個別ケア会議の定例化を予定している。民主的運営の推進として職員からのボトムアップが図られている。		

II 施設の運営管理

1 施設長の責任とリーダーシップ

(1) 施設長の責任が明確にされている。		第三者 評価結果
①	10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
【コメント】		
分園化・ユニット化が実現する中、新たな組織図は上下の明確化ではなく、各課が平行かつ関連がわかるよう図示されており、民主的運営を象徴する内容となっている。また職務分掌表が作成されており、職務の役割と仕事が明確化されている。		
②	11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
【コメント】		
制度全般および関連法案について知識を深められるよう研修参加等に取り組んでいる。子どもたちの権利擁護推進、職員の労働環境の向上を柱として専門家のアドバイスを受けながら取り組んでいる。		
(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。		
①	12 養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a
【コメント】		
本年度より施設長の交代があり、前体制の良いところを踏襲しつつも新たな取り組みが実施されている。権利擁護に関する職員への事例の振り返り、全児童との個別面談、施設内研修の充実など様々な改革を断行している。		
②	13 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a
【コメント】		
職員の採用、加算の取得等を進めており、収支のバランスを図りながら運営の推進に取り組んでいる。またICTおよびクラウドの活用により業務の効率化と情報の共有化を図り、小規模・分散化によるリスクを回避するよう取り組んでいる。		

2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	第三者 評価結果
① 14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a
【コメント】 各種媒体や新施設長の人脈により多くの人材採用に成功しており、ユニット調理の導入、新たな地域小規模児童養護施設の開設への対応を図っている。職員の経験を考慮しながら職員配置を決定しており、適材適所をもって適切な支援実施に取り組んでいる。	
② 15 総合的な人事管理が行われている。	b
【コメント】 手当・賞与等の支給により適切な職員処遇に取り組んでいる。今後は考課を一定割合で賞与に反映する仕組み等の実施を検討している。	
(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	
① 16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	b
【コメント】 働き方改革の施行によりワークライフバランスを意識した労務管理に取り組んでいる。来年度は交代制勤務の導入、手当の改定等を予定している。通院への付き添い、通塾の送迎等々の負担増についても解消と改善を検討している。	
(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	
① 17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b
【コメント】 年度において研修計画を策定し、職員が自己研鑽に励めるよう取り組んでいる。職員一人ひとりに対する育成計画はないものの、事業所内研修を開催し、職員の資質向上を支援している。	
② 18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a
【コメント】 施設内研修の充実を図っており、ロールプレイ、階層別、新入職員向け等多様に実施をしている。今後は新型コロナウイルスの影響により今年度実施ができなかった外部講師を招いての全職員を対象にしたリスクマネジメント・防犯研修の実施を予定している。	
③ 19 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	a
【コメント】 施設内外の研修への参加を通して職員が成長できるよう努めている。今後の小規模化・地域分散化の実現のため、職員育成の必要性を認識しており、新任職員に対するO-JT・OFF-JTの双方からサポートする体制の構築に取り組んでいる。	
(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	
① 20 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a
【コメント】 マニュアルの設置・オリエンテーションの実施等体制を整備し、実習生の受入れがなされている。施設長自ら実習生の面談を行う・学校との連携を深める等の注力がなされており、新規採用につなげられるなどの成果を得ている。	

3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	第三者 評価結果
① 21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a
【コメント】 ホームページをリニューアルしており、情報の発信に努めている。併せてソーシャルネットワーキングシステムにより採用情報や行事の様子を伝える取り組みもなされている。ホームページ閲覧からの問い合わせ増加を認識しており、その効果を確認している。	
② 22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a
【コメント】 経理規程を整備しており、物品購入・小口現金の管理をはじめ、適正な支出に取り組んでいる。専門家による経理指導を定期で受けており、適切な財務処理にあっている。	

4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。	第三者 評価結果
① 23 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a
【コメント】 子ども会や地域の行事への参加を通して地域との交流を深めてきたが、新型コロナウイルスの影響により縮小している。秋祭りには地域の方々にも来訪いただくなど状況を考慮しながら交流を継続している。	
② 24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a
【コメント】 ピアノ、理美容、トランポリン等のボランティアの協力を得て子どもたちの生活を豊かにするよう努めている。また新たにダンス講師からも協力を得ており、秋祭りでの発表がなされている。	
(2) 関係機関との連携が確保されている。	
① 25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
【コメント】 児童相談所をはじめ関係機関と協調した取り組みに努めており、情報の共有を図っている。特に近年は学校との連携を深めており、協調により子どもたちへの支援に取り組んでいる。	
(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	
① 26 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a
【コメント】 地域交流スペースが設置されており、ボランティア活動など多目的に活用がなされている。新型コロナウイルスの影響により交流研修、球技大会等が中断されており、終息後の再開が待たれる。	
② 27 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a
【コメント】 行政より短期施設利用事業を受託しており、ショートステイ・トワイライトステイを実施している。	

Ⅲ 適切な養育・支援の実施

1 子ども本位の養育・支援

(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。		第三者 評価結果
①	28 子どもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
【コメント】 権利擁護研修や施設独自の行動指針の作成により、子どもたちの権利が擁護された養育支援がなされるよう職員に対して指導にあたっている。		
②	29 子どものプライバシー保護に配慮した養育・支援が行われている。	a
【コメント】 権利ノートの説明を通して子どもの権利を尊重した支援となるよう取り組んでいる。高年齢児に対しては個室を提供し、プライベートゾーンを確保した生活ができる環境形成にあたっている。		
(2) 養育・支援の実施に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。		
①	30 子どもや保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	a
【コメント】 施設と家庭が両輪となって子どもの成長を見守ることを方針としており、保護者との連携を重視している。関係機関と歩調を合わせることを重視し、協調した支援となるよう努めている。		
②	31 養育・支援の開始・過程において子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	a
【コメント】 入所にあたっては施設・ユニットのルール等を説明し、不安を取り除きながら生活に馴染めるよう支援に努めている。新型コロナウイルスの影響を考慮し、制限時間を設けつつも面会を実施するなど対応を図っている。		
③	32 養育・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	a
【コメント】 退所後も相談にのるなど家庭への移行に対して支援にあたっている。また施設の移行にあたっては家庭の事情等を考慮し、関係性を維持できるよう支援にあたっている。		
(3) 子どもの満足の向上に努めている。		第三者 評価結果
①	33 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a
【コメント】 意見箱を設置し、また子どもたちが不満も含めて何でも職員に言えるよう関係性の構築と環境の整備に努めている。更に施設長との面談を全児童に対して実施しており、意向・要望の把握に努めている。		
(4) 子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。		
①	34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a
【コメント】 子どもたちからの要望は必要に応じて運営会議等にて検討し、朝会・職員会議にて報告する流れが作られている。		

②	35	子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、子ども等に周知している。	a
【コメント】 ユニットの担当をはじめ職員が子どもたちの様子を把握し、適宜相談に乗れるよう取り組んでいる。ユニット制の実施によりユニット以外の子どもや職員への関心が薄れないようICTを活用し、情報の共有に努めている。			
③	36	子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a
【コメント】 子どもの要望に対しては受け止め、説明や話し合いを通して理解が深まるよう取り組んでいる。施設長と間接職員による全児童に対する面談を実施しており、子どもたちの希望をくみ取るよう取り組んでいる。			
(5) 安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組が行われている。			第三者 評価結果
①	37	安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b
【コメント】 遊具の見直し等施設内の安全確認と改善を実施している。職員の増員による見守り体制の強化、防犯カメラの設置などリスクマネジメントがなされている。			
②	38	感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
【コメント】 感染症蔓延防止にあたっては、手洗い励行・ポスター掲示等にて注意喚起にあたっている。ユニット化したことで感染時の対応がしやすくなっており、蔓延防止に対して効果を確認している。緊急事態宣言下においては児童の心身の安定に配慮し、対応に努めている。			
③	39	災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b
【コメント】 非常災害対策計画・総合避難訓練マニュアルの策定がなされている。毎月の避難訓練は想定を変えて行っており、子どもたちの安全確保に取り組んでいる。事業継続計画の策定がなされているものの、感染症対応や実態に即すための確認について委員会を中心に行う予定をしている。			

2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の標準的な実施方法が確立している。			第三者 評価結果
①	40	養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。	b
【コメント】 フローチャートの作成など養育支援・リスクマネジメントについて水平展開に取り組んでいる。温かさが伝わる養育支援を伝えることを意識し、地域小規模児童養護施設の設置・運営に関して標準化を進める意向をもっている。			
②	41	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b
【コメント】 マニュアルを増やしていくことよりマニュアルの整理を進める意向をもっている。新入職員の定着に役立つツールとして機能していくことを目標としている。			

(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。	
① 42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	a
【コメント】 自立支援計画の策定スケジュールが確立しており、担当者による素案作成・自立支援会議での検討を通して立案されている。個別カンファレンスの充足が図られており、更にアセスメントツールの見直しも検討事項としている。	
② 43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	
【コメント】 自立支援計画は、半期に一度の検討および自立支援会議開催により見直しが図られている。短期目標の達成、長期目標の継続可否など子どもたちに寄り添った支援が実践されるよう検討がなされている。	
(3) 養育・支援の実施の記録が適切に行われている。	
① 44 子どもに関する養育・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
【コメント】 ICTを活用し、子どもの状態や様子、活動の記録がなされている。定期で管理職によるチェックが行われており、朝会での報告とあわせて情報共有を図っている。セキュリティ強化や記録に関する負担軽減に関しては今後更に指導や改善を進める意向をもっている。	
② 45 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	
【コメント】 個人情報保護規程が設置されており、職員共通の理解として認識できるよう指導にあたっている。子どもたちの記録については、鍵付きの書庫にて保管されており、適切な取り扱いに取り組んでいる。	

内容評価基準 (25項目)

A-1 子どもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援

(1) 子どもの権利擁護	第三者 評価結果
① A1 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	a
【コメント】 3か年の方針として権利擁護の視点から生活ルールの見直しを掲げており、グループディスカッションやロールプレイを交えた研修実施、全児童との施設長による面談等を実施している。生活ルールを一方的に示すのではなく、子どもたちの話し合いによる合意形成により達成していくことを目標としている。	
(2) 権利について理解を促す取組	
① A2 子どもに対し、自他の権利について正しい理解を促す取組を実施している。	a
【コメント】 年度初めに子どもたちを集め、権利ノートの説明等権利擁護について話し合いの機会をつくっている。自身が持つ権利が保障されていること、自由に意見が言えることについて丁寧に説明に努めている。	

(3) 生き立ちを振り返る取組		
①	A3 子どもの発達状況に応じ、職員と一緒に生き立ちを振り返る取組を行っている。	a
【コメント】 児童相談所および関係機関との連携と協議をもって進め、子どもの状態を考慮しながらタイミングを見て実施に努めている。紙芝居や写真などツールを活かしたライフストーリーワークを実施し、家庭との関係を考慮しながら進めている。		
(4) 被措置児童等虐待の防止等		
①	A4 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	a
【コメント】 施設間の情報共有に努め、不適切な関わりを防止するよう取り組んでいる。第三者から見て誤解を招くような行為を慎み、言葉遣いについても意識するよう指導にあたっている。職員の充足と記録の電子化がなされており、情報共有と手厚い支援により推進している。		
(5) 子どもの意向や主体性への配慮		
①	A5 職員と子どもが共生の意識を持ち、生活全般について共に考え、快適な生活に向けて子ども自身が主体的に取り組んでいる。	a
【コメント】 ユニット会議を開催し、月の目標や反省、現在困っていること等について話し合いの機会をもっている。子どもが自己に対する肯定感をもてるよう・達成の喜びを味わえるよう趣向を凝らし、養育に取り組んでいる。		
(6) 支援の継続性とアフターケア		
①	A6 子どものそれまでの生活とのつながりを重視し、不安の軽減を図りながら移行期の支援を行っている。	a
【コメント】 入所の際に職員は、事前面接を行ったときの服装にするなど子どもが少しでも安心できるよう工夫に努めている。見学や丁寧な説明により子どもの納得を重視した選択となるよう取り組んでいる。		
②	A7 子どもが安定した社会生活を送ることができるようリービングケアと退所後の支援に積極的に取り組んでいる。	a
【コメント】 自立支援専門相談員を中心に退園後の生活について把握するよう努めている。特に卒園した年度については小まめに連絡をしたり、家庭訪問をしたりと安定した生活が送れるよう見守っている。		

A-2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の基本		第三者 評価結果
①	A8 子どもを理解し、子どもが表出する感情や言動をしっかりと受け止めている。	a
【コメント】 子どもを受容する精神については職員育成目標の中に方針を定め、ユニットの中で職員がフォローし合いながら養育に努めている。		
②	A9 基本的欲求の充足が、子どもと共に日常生活を構築することを通してなされるよう養育・支援している。	a
【コメント】 ユニット制の中で職員との関係性を密にし、愛着が形成されるよう努めている。「頼り・頼られる関係を築くこと」、「子どもたちの声を聴こうとすること」が重要であることを職員に伝えている。新型コロナウイルスによるストレスについても食事を工夫するなどそのフォローに努めている。		

<p>③ A10 子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切にし、子どもが自ら判断し行動することを保障している。</p>	<p>a</p>
<p>【コメント】 「失敗を許し、励ます」・「失敗したことから何を学ぶことができるか」を大事にした養育支援の実施に取り組んでいる。焦らず・急がず待つ姿勢を持ち、また同時に礼儀や作法を学び社会性を身に付けられるよう努めている。</p>	
<p>④ A11 発達の状況に応じた学びや遊びの場を保障している。</p>	<p>a</p>
<p>【コメント】 安全性の確保から遊具の撤去などの代わりにゲーム機器の購入、被服費や教育娯楽費の増額など時代と子どもたちの要望に沿った対応と予算作成がなされている。講師を招いてのダンス教室など新たな取り組みもなされている。</p>	
<p>⑤ A12 生活のいとなみを通して、基本的な生活習慣を確立するとともに、社会常識及び社会規範、様々な生活技術が習得できるよう養育・支援している。</p>	<p>a</p>
<p>【コメント】 礼儀・作法に始まる躰については、社会に出てから困らないよう基本的な生活習慣が身に付けられるよう指導に努めている。足音でどの職員かがわかるほど職員は子どもたちの視線を浴びて生活しており、子どもたちの良い見本になれるよう・襟を正すよう取り組んでいる。</p>	
<p>(2) 食生活</p>	
<p>① A13 おいしく楽しみながら食事ができるように工夫している。</p>	<p>a</p>
<p>【コメント】 なるべく皆が揃って食事がとれるようにしており、中高生が塾や部活動で遅くなるときも温かいものは温かく食せるよう努めている。また定期的に子どもたちへの嗜好調査を実施し、配慮した食事の提供に努めている。試行的に始められているユニット調理の本格実施が予定されており、更に食が身近となり食育の進捗と家庭的養育の推進が図られることが期待される。</p>	
<p>(3) 衣生活</p>	
<p>① A14 衣類が十分に確保され、子どもが衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。</p>	<p>a</p>
<p>【コメント】 高齢児は自身で買い物に行き、低年齢児は好みを把握して職員が購入している。ユニットにて予算を管理し、季節ごとに適切な服装ができるよう支援している。</p>	
<p>(4) 住生活</p>	
<p>① A15 居室等施設全体がきれいに整美され、安全、安心を感じる場所となるように子ども一人ひとりの居場所を確保している。</p>	<p>a</p>
<p>【コメント】 家庭的な温かみをもてるよう内装や掲示などにも工夫の跡が見られる。子どものプライバシーを確保するため、また子ども同士のトラブルを防ぐためにはいかに子どもたちを一人ひとり見ているか・把握しているかが大事なることを説いている。ユニット制・男女別のゆるやかな縦割りの良さを活かした養育支援となるよう取り組んでいる。</p>	
<p>(5) 健康と安全</p>	
<p>① A16 医療機関と連携して一人ひとりの子どもに対する心身の健康を管理するとともに、必要がある場合は適切に対応している。</p>	<p>a</p>
<p>【コメント】 健康診断結果の把握、日々の観察を通して子どもたちの健康管理に取り組んでいる。嘱託医への相談、通院同行、保護者への報告など職員間の連携をもってあたっている。投薬の複雑さが増す中、更に厳格な服薬管理の実施に取り組んでいる。</p>	

(6) 性に関する教育	
① A17 子どもの年齢・発達の状況に応じて、他者の性を尊重する心を育てよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。	a
【コメント】 学校の指導と並行するよう意識しており、施設全体で注力した取り組みとなるよう努めている。性教育委員会にて年齢に応じた指導がなされており、具体的想定を意識した対策を講じるよう努めている。	
(7) 行動上の問題及び問題状況への対応	
① A18 子どもの暴力・不適応行動などの行動上の問題に対して、適切に対応している。	a
【コメント】 行動上の問題がある場合は、朝会や各種会議等にて情報を共有し、統一した養育支援を実践できるよう取り組んでいる。心理士と連携し、子どもの衝動的な行動への対応等話し合いながら進めている。	
② A19 施設内の子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないように施設全体で取り組んでいる。	a
【コメント】 横割りによるユニットを組んでいたが、子どもたちのパワーバランスを考慮し、ゆるやかな縦割りとしている。また子どもが孤立しないよう子どもたちの関係性に配慮するよう努めている。	
(8) 心理的ケア	
① A20 心理的ケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。	a
【コメント】 常勤・非常勤1名ずつの心理士を配置しており、俯瞰した立場から子どもたちの生活を見守っている。職員の悩みや相談に応じるなど直接処遇職員と一緒に考えながら進めるよう努めている。	
(9) 学習・進学支援、進路支援等	
① A21 学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援を行っている。	a
【コメント】 受験時を中心に学習塾を利用し、基礎学力の向上に努めている。各種助成および法人からの協力を得て児童の希望する進路が実現するよう取り組んでいる。また幼稚園については年少から入園をするなど社会性や発達を考慮した取り組みがなされている。	
② A22 「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。	a
【コメント】 目的をもった選択となるよう取り組んでおり、将来を見据えた進路となるよう支援に取り組んでいる。高年齢児の行動や進路が低年齢児に好影響を与えており、奨学金の利用等の情報についても提供しサポートに努めている。	
③ A23 職場実習や職場体験、アルバイト等の機会を通して、社会経験の拡大に取り組んでいる。	a
【コメント】 業種や帰宅時間について指導しながらアルバイト活動を支援しており、社会体験の習得に取り組んでいる。新型コロナウイルスの影響を考慮し、状況に応じながら対応を図っている。	

(10) 施設と家族との信頼関係づくり

①	A24 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。	a
---	---	---

【コメント】

子どもの担当者を中心に・家庭支援専門相談員の指導のもと家庭との関係調整に努めている。新型コロナウイルスの影響を考慮し、時間を決めるなど柔軟な対応にあたっている。他の子どもたちへの影響も考慮し、配慮に努めている。

(11) 親子関係の再構築支援

①	A25 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。	a
---	--------------------------------------	---

【コメント】

親子訓練室が設置されており、親子関係の再構築にあたって積極的な利用に努めている。不安定な状態にある場合は相談にのるなど家庭復帰への進捗に努めている。親子訓練室は高齢児童の自立訓練にも活用しており、早期から自立を意識するよう取り組んでいる。